

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	ハザードマップ作成による自主防災・地区防災意識の醸成事業
事業主体 (連絡先)	上松町 上松町役場 危機管理課 危機管理係 (0264-52-2001 内線 27、28)
事業区分	(4) 安全・安心な地域づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	5,656,500 円 (うち支援金: 4,000,000 円)

事業内容

住民ひとりひとりの「自主防災」意識と地域における身近なところでの「地区防災」意識の高揚をはかる足掛かりとするために以下の事業を実施した。

- ①縮尺 1/4500 の住宅地図をベースとし、住民が自宅の家形を確認しながらハザードエリアの確認も可能な災害ハザードマップ冊子版を各戸配布用に作成した。
- ②町内外よりインターネットを通じて確認が可能なWEB版ハザードマップを作成し公開した。
- ③公共施設や地区集会施設に掲示する町全体のハザードエリア等を確認可能な大判掲示用ハザードマップを作成した。
- ④地域に密着した消防団各分団へ災害時救助用機材を配備した。



【防災講演会】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①自主防災・地区防災意識の醸成
総合防災訓練において防災講演会を開催し、自助・共助の必要性や有効性を啓発した。また各地区駐在員や組長を対象にハザードマップ作成計画の説明を行い、避難所等に対する意見交換を行った。それらの取り組みを具体的な目に見える化をはかる意味でも新しいハザードマップの活用が期待ができる。
- ②自主的な災害対応への合意形成
今後、ハザードマップを活用した自主防災マップや支え合いマップ作成等の地域における災害対応への合意形成が進むことが期待できる。
- ③消防団の災害対応力向上
消防団において、多様化する災害現場への対応力向上が期待できる。

【目標・ねらい】

- ①自主防災・地区防災意識の醸成
- ②自主的な災害対応への合意形成
- ③消防団の災害対応力向上

※自己評価【B】

【理由】
効果が十分期待できる完成品となったが、周知・活用は今後の取り組みとなる。また、意識の醸成には継続した取り組みによる積み重ねが必要であり時間を要す。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

平成31年4月に冊子版ハザードマップを町内全戸に配布し、5月～6月には、町内全地区を対象に6箇所程度で懇談会を開催する。懇談会では、ハザードマップに掲載した情報の解説や自助・共助の必要性・有効性の啓発を行い、住民の防災意識の醸成をはかる。

消防団においては救助用機材を用いた新たな分野の訓練に取り組む。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある